

恵庭市長定例記者会見（R3. 6. 28）

お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

また、日ごろから市の行事などについて、広く市民に周知していただき、ありがとうございます。

第2回定例会が終了しましたので、今後予定する事業などについて発表させていただきます。

今議会におきましては、追加議案4件を含む14件の議案について審議いただきました。

その主なものといたしまして、「令和3年度一般会計補正予算」などであり、新型コロナウイルスワクチン接種事業、緊急事態宣言下での休業に協力いただいた店舗への協力金などについてであります。

その全ての議案についてご承認いただきましたことに、まずもって感謝いたします。

また、一般質問や各常任委員会の中で、市政の各般にわたる課題に関し、ご提言をいただきました。

これら議会からのご指摘を大切にしながら、さまざまな施策の推進を図って参ります。

それでは、本日の発表内容を述べさせていただきます。

まずは、「新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種」についてであります。

本事業については、本年5月より65歳以上の高齢者接種を開始したところであり、当初は、国よりワクチンの供給量が不透明な状況でありましたが、5月末頃から、必要な数量が届くようになり、それに伴い計画的にワクチン接種が進められるようになりました。

国からは、各自治体に対し高齢者接種の完了時期を7月末に前倒しするよう要請があり、本市におきましても、接種計画の見直しを行うこととしました。

当初は、市内医療機関による「個別接種」の接種方式のみを予定しておりましたが、接種を加速化する観点から「集団接種」も併せて行うこととし、6月12日より恵庭市総合体育館で土曜日・日曜日を基本として実施しており、更に6月26日からは、北海道文教大学の体育館を利用させていただき、市内2か所目の集団接種会場を設けております。



そのほか、北海道が主体となり大規模接種会場を厚別の「エミシア札幌」に開設いただいており、一層の接種機会の拡充が図られております。

こうした、接種体制の拡充により、7月末を目途として高齢者の接種を完了していく予定であります。

また、高齢者接種以降の優先順位となる基礎疾患を有する方、その他の接種対象の方についても、早期にワクチン接種ができるよう、7月中旬までには、接種券を順次送付する予定であり、接種開始時期等については、「個別通知」や「広報えにわ」や市ホームページなどでお知らせしていきたいと思っております。

引き続き、恵庭市医師会や市内医療機関と連携を取りながら、新型コロナウイルス感染症対策に全力で取り組んで参ります。

次に、「新型コロナウイルス感染症に係る経済対策」についてであります。

はじめに、北海道の支援策についてであります。本市は、5月16日から6月20日までの緊急事態宣言下において、特定措置区域に指定され、基本的に酒類又はカラオケ設備を提供する飲食店については休業要請、それ以外の飲食店等については営業時間を5時から20時までとする要請がされておりました。この要請に応じた企業等に対し、中小企業及び個人事業主は1日当たりの売上高に応じて4万円から10万円、大企業は1日当たりの売上高の減少額に応じて最大20万円が協力支援金として支払われています。

6月21日以降は、「まん延防止等重点措置」が7月11日までの期間で適用され、本市は経過区域として営業時間は5時から21時まで、酒類の提供は11時から20時までの要請がなされました。要請に応じた企業に対し、2万5千円から7万5千円、大企業は1日当たりの売上高の減少額に応じて最大20万円が協力支援金として支払われる予定です。解除後は、ただちに申請を受け付け、早急に支払えるよう準備を進めます。

また、新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ市内経済の循環・回復を目的として、恵庭市オリジナルの「えにわ商品券 えにわんチケットプレミアム」を発行し、9月からの利用開始を予定しております。

今回は、給付型ではなく、購入型の商品券事業としており、1冊5,000円の商品券を4,000円で購入いただき、大型店では5,000円分、小規模店舗などの特定店舗では6,000円分利用できるものとしております。

2点目は、「ホストタウン」についてであります。

東京オリンピックの開催まで残り25日となり、いよいよオリンピックが近づいてまいりました。本市がホストタウンとなっているグアテマラ共和国の競歩選手団は、7月23日に10名が来恵し、本市にて事前合宿を行います。

選手団の日程につきましては、7月31日までの9日間、事前合宿を行った後、札幌市内の選手村に移動し、8月5日と6日の大会に出場する予定となっております。

大会後につきましては、8月7日に、本市に戻り、市民会館大ホールでの事後交流会に参加し、8日に帰国する予定となっております。

競歩のコースは、札幌駅前通りとなっております。またとない機会ですので、是非、選手の名前を憶えて、応援していただきたいと思います。

グアテマラは競歩が強い国で、前回銀メダルを獲得した選手は国の英雄になったと聞いています。コロナウイルス対策もあるので、どのようなことができるか定かではありませんが、できる限りの応援をしたいと考えています。選手に千羽鶴を贈ることとしており、市民にも折り鶴の協力をお願いしておりますので、是非参加していただきたいと思います。

恵庭市の子ども達も含めて、グアテマラという国を知り、応援する機会になればと考えています。

3点目は、「恵庭市制施行50周年記念フォーラムについて」についてであります。

コロナの影響により1年延期していました「市制施行50周年記念フォーラム」を来月10日(土)・11日(日)に北海道文教大学鶴岡記念講堂において開催いたします。

詳細は別紙のチラシのとおりですが、このフォーラムには道内外から多くのゲストをお招きしており、講演のほかに4つの分科会を開催し先進的なまちづくりの事例を参考に議論を行い、市民らと共に情報共有してこれから求められるまちづくりに繋げていきたいと思います。

コロナ禍でありますので、感染予防対策を行い、現段階では入場制限などを行うこととしています。

また、場合によってリモートによる出演も準備しているところです。

さらには、当日の様子を録画したものを事後にWEBサイトにおいて動画配信する予定となっております、様々な形をとって情報発信を行って参りたいと考えています。

4点目は、「第39回全国都市緑化北海道フェア(ガーデンフェスタ北海道2022)について」についてであります。

まずは、ガーデンフェスタ北海道2022開催1年前イベントについてであります。一昨日の6月26日、花の拠点「はなふる」センターハウスにて、「ガーデンフェスタ北海道2022開催1年前イベント」を開催しました。本来であれば、市民の皆様にもご観覧いただきかったのですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者を報道機関に限定させていただき、記者発表の形でイベントを実施しました。

今回のイベントでは、3つの催事を開催いたしました。
最初に、料理研究家としてご活躍されている恵庭出身の坂本星美(さかもとほしみ)

さんをフェアのPR大使である「フラワーアンバサダー」に委嘱しました。これから、私達と一緒にフェアを盛り上げていってくれます。

次に、北海道観光PRキャラクター「キュンちゃん」の「ガーデンフェスタバージョン」のお披露目を行いました。今回の「ガーデンフェスタバージョンのかぶりもの」については、全道の小中学生からデザインを募集したところ、462点の応募をいただき、その中から本市の恵み野旭小学校6年生、室玲妃（むろたまき）さんの作品が、最優秀賞として採用されることになり、私としても大変嬉しく思っております。この「ガーデンフェスタバージョンのキュンちゃん」にも、今後のフェアを盛り上げていってもらいます。

最後に、カウントダウンボードのお披露目を行いました。カウントダウンボードにつきましては、「道と川の駅 花ロードえにわ」正面入口付近に設置しております。ぜひ一度ご覧ください。

次に、開催300日前イベントであります。こちらについては、8月下旬に開催を予定しておりますが、詳細については現在検討中であります。詳細が決まりましたら、皆様にも周知させていただきます。

5点目は、「シェアサイクル「えにくる」」についてであります。

5月10日から市内周遊を促すための新たな取り組みとして、電動アシスト自転車を用いたシェアサイクル事業「えにくる」を開始しました。

この「えにくる」ですが、専用サイクルポートを花の拠点（はなふる）、JR恵庭駅、JR恵み野駅の3か所に設置し、そこに配置された合計14台の電動アシスト自転車を24時間いつでも好きな時に借りたり返したりできるサービスです。

スマートフォンで利用や決済を行います。ぜひ、ご活用ください。

以上で、私からの発表は終わらせていただきます。

引き続き、教育長からの発表があります。

教育長から発表

続いて、「えにわ電子図書館の開設」についてであります。

恵庭市では、今年4月より、市内の小中学生に向けた電子の図書館「えにわ電子図書館」を開設しました。752冊を所蔵し、インターネット環境があれば、24時間いつでもどこでも、お手持ちのパソコンやタブレット、スマートフォンなどで、利用することができます。

もちろん、本年、整備したGIGAスクール端末での活用も可能なコンテンツであります。

また、文字を大きくしたり、色を反転させたり、音声で聞くこともできるため、視覚

に障がいのある児童生徒でも、本を利用しやすい環境が整いました。ほかにも、本の紛失や延滞、貸出による摩耗がないことや、郷土資料などを簡単に公開できるうえ、保管が容易なことなど、メリットが多いシステムです。

小中学校向けに電子図書館が導入されるのは道内では初めてで、全国の公立学校でもわずか2%しか導入されておられません。

今後は、市立図書館の利用者でも自宅で利用ができるように、準備を進めているところでございます。

●質疑応答

発表項目について

(記者) ワクチン接種について、65歳以上の接種率は？また、65歳未満の人への接種券の発送予定は？

(対策室主幹) 6月28日朝時点で65歳以上の1回目の接種は約20,500人中12,026人で約58%の接種率です。実施計画では60%に設定しているため、順調に進んでいると認識しています。

65歳未満の人への接種券の送付は、7月12日の発送を予定しており、7月15日から基礎疾患のある人の予約をコールセンターへの電話で受け付けます。その後、7月26日から60～64歳、29日から55～59歳の人の予約を開始します。55歳未満の人のスケジュールは、ワクチン供給が分かり次第、決定します。

(市長) そのほか、介護職員や保育士などのエッセンシャルワーカーへの接種は先行して行う予定です。

(記者) ホストタウンの受入れについて、他自治体は辞退しているところもあるが、受入れを迷ったことは？入国してから感染がわかった場合の対応は？

(市長) これまで受入れを迷ったことはありません。他自治体は相手国からの辞退が多かったと認識しています。対策については、担当職員のワクチン接種を行い、市内移動もバスで行うなど、しっかり対応します。何かあったときの対応も医師会とも調整し、医療機関の対応を依頼しています。

(記者) 医療機関の受入れは市内か？グアテマラの現在のコロナウイルスの感染状況は？

(企画課長) 医療機関の受入れは市内です。感染状況は、6月16日時点で1日1,472人であり、ワクチンは683,000人、全人口の4.1%が接種しています。

(記者) グアテマラ選手団の人数は変更があったのか？

(企画課長) 事前合宿で市内に来る選手は10人、追加になった場合は選手村に直接入ります。

(記者) 出迎事業はどのようなもので、報道公開はされるか？ホテルはどこを予定しているか？練習場所は？

(企画課長) 出迎事業は、市長がお出迎えを行います。ホテルに市民に協力いただき飾りつけを行う予定です。出迎事業は取材していただけます。ホテルはステーションホテルです。練習場所は市内の郊外で行います。練習中は常時、職員が付く予定です。早朝、夕方の時間帯になりますが、遠くからの撮影など取材はできます。

(記者) 取材できるタイミングを教えてください。

(市長) 試合前でナーバスになっていることも考えられますので、相手国と調整します。

(記者) 受入れはどこから、何名で対応するのか？

(企画課長) 職員1名が成田空港までお出迎えに行きます。

(記者) 他自治体で受入れを担当していた職員が濃厚接触者となった事例があった。

(企画振興部長) 国が入国時に水際対策をしっかりとやっていると聞いています。市の対応者も少数とすることとして対策しています。

(市長) 感染対策はしっかりと行いたいと考えています。

(記者) ワクチン接種について、接種会場を増やす予定は？

(対策室長) 現時点で順調に推移していることから、増やす予定はありません。

(市長) 65歳未満の状況を見て検討していきます。高齢者分は現状の会場で行います。

(記者) 経済対策の商品券事業はいつから行うのか？

(経済部長) 7月20日過ぎに引換券を送付し、8月上旬から1次販売、9月1日から使用開始の予定です。

(市長) 1次販売の状況によって、2次販売も行う予定です。

(記者) 緑化フェアまで1年を切った。これからやらなければならないことは？

(市長) 会場や駐車場の整備、周知・宣伝活動、会場の飾りつけを決定することなど、多岐に亘ります。北海道観光振興機構にもご協力いただきながら、協賛会場を巡るツアーを作り、販売するということも考えなければなりません。また、緑化祭には皇室にも来ていただくので警備の調整があります。できれば、皇室の方にも市民のガーデンを巡っていただき、これまで市の花のまちづくりにご協力いただいたみなさんの励みになればと考えています。市民の手で作る上げる手作りのフェアにしていければと考えています。

(記者) 皇室はどなたが来るのか？

(市長) 未定ですが、直近だと眞子様、その前だと秋篠宮様がいらしています。

(記者) コロナウイルスの関係で変更などは？

(市長) 予定通り行う予定です。

(記者) 電子図書館の読み上げ機能とは？

(教育長) すべての図書を読み上げることはできませんが、大方の本は読み上げ対応できます。

(記者) 視覚障がいの人にとっても便利の機能だと思うが、周知などは？

(教育長) 今は、児童用として運用しています。視覚障がいの人向けにはデイリー図書という制度があります。

(記者) 貸出目標は？

(教育長) 目標数は設定していませんが、全児童生徒が借りることができる環境となっています。

その他

(記者) 国会で自衛隊周辺の土地利用の規制に関する法律が成立しているが、自衛隊を抱える市として、市長の見解は？

(市長) 法の内容や運用を詳しく把握していませんが、自衛隊には極めて機密の高い情報を守るための施設があると認識しています。これらを守るため、周辺施設の利用に一定の届け出が必要という趣旨は理解できます。運用面で話題となっている、周辺でデモ活動ができないのではないかといった懸念など、表現の自由には配慮して運用して欲しいと思っています。

(記者) 11月で任期満了となるが、次期に向けた思いは？

(市長) まずは任期中を精いっぱいやりたいと思っています。コロナウイルス対策が直近の課題なので、全力で取り組みます。時期が来たら今後のことは判断したいと考えています。